

令和元年度 第1回 学校運営協議会 議事録

令和元年7月3日(水) 14:00~16:00

於：大阪府立守口東高等学校 校長室

書記：笹山 秋生

【出席者】

<委員>

- 寺本 毅 (守口市立八雲中学校 校長) 【会長】
- 竹内 章 (成蹊大学 スポーツ&カルチャーセンター長) 【副会長】
- 江田 優紀 (ベネッセコーポレーション大阪支社)
- 小倉 庸敬 (榊淀川製作所 代表取締役)
- 檜尾 まゆみ (本校PTA会長)

<校長> 富永 誠

<事務局>

- 辻 真人 (教頭)
- 山地 千里 (事務長)
- 笹山 秋生 (首席)

【議事】

- 1 開会の挨拶
- 2 委員自己紹介
- 3 事務局自己紹介
- 4 令和元年度 教科用図書について
- 5 会長・副会長選出
会長：寺本委員 副会長：竹内委員
- 6 協議
 - ①平成30年度 学校評価について…校長より説明
 - ・概ねよい意見が多い。(少人数授業のアンケートなど)
 - ②令和元年度 学校経営計画について…校長より説明
 - ・わかりやすい授業の実施
 - ・部活動の加入率の増加
 - ・HPの更新やメルマガの配信など、情報伝達の強化
 - ・時間外勤務を減らす
 - ③今年度の取り組みについて…校長より説明
 - ・ICT環境の整備
 - ・スマートフォンの使用に関するルール作り
 - ④防災計画について…教頭より説明
 - ・防災計画の見直しを検討
 - ⑤進路実績について…首席より説明

- ・この数年は、大学進学と専門学校進学と就職の割合が同じくらいである。
- ・昨年度の就職では1次合格率が90%を超えており、全国平均を上回った。
- ・進学では、近年、公募制推薦や一般入試での受験が増えている。
- ・奨学金を希望する生徒が増加している。

⑥その他

7 意見交換

○ICT環境の整備について

- ・スマートフォンについては、必ずメリットとデメリットがあるのでバランスをとるようにコントロールすることが必要ではないか。

○防災について

- ・阪神大震災後に会社でもルールを作り冊子を作るなどしたが、今では活用していないことが多い。防災ビデオなどを活用して、視覚に訴えたほうがよかった。
- ・会社では、机の下と上に空間を作ることが決められている。またヘルメットと防災グッズが1人に1セットが準備されており机の横に置いてある。安否確認については、防災メールが来るのでそれに返信することになっている。
- ・生徒に告知しない防災訓練をしているところもある。

○スマートフォンについて

- ・他校では、普段は使用禁止だが授業中に先生が許可した場合のみ使用できるようにしている。その際、学校で決めた活用マニュアルを読み上げてルールを伝えている。
- ・教員は最悪の状況を考えるが、クラスの中でそのような状況になるのは2～3人であるので、(使用することで悪くなるよりも)使い方を教えるほうが重要である。
- ・スマートフォンでのコミュニケーションは、新しい世代のコミュニケーションであるので、時代に応じて対応する必要がある。

○部活動の活性化について

- ・非常に重要なことではあるが、教員の働き方改革とぶつかるので、どのように考えるか。

○奨学金について

- ・奨学金の希望が多いとのことだが、奨学金は借金であると生徒と保護者は理解しているのか疑問である。借金を背負ってまで大学進学することが必要なのか。
- ・保護者はいけるのであれば大学や専門学校に行かせたいと思っている。

○その他

- ・学力の定着として、学びの基礎診断はどのように実施するのか。
→教育産業の実力テストを活用し振り返る。
- ・e-ポートフォリオはどのように考えているのか。
→本校では紙媒体での記録を実施している。
- ・昨年度、市民まつりなどにダンス部が参加してくれたが、非常に評判がよかった。今後も機会があれば出演してほしい。

8 閉会の挨拶